

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 川津 章弘	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	産業動物臨床獣医師確保支援事業		
目的	(1) 対象	産業動物臨床獣医師確保を図るための修学資金貸与事業を行う畜産団体	
	(2) 意図	畜産団体が実施する修学資金貸与事業への助成を行うことにより、産業動物分野の新規臨床獣医師の確保を促進し、本県の獣医療体制の維持を図る。	
事業概要	本県の産業動物診療、特に牛については主に家畜診療所が主体となって実施しており、本県の肉用牛振興上、必要不可欠な機関の一つである。近年の退職者数が多い期間における産業動物臨床獣医師の確保を図るため、畜産団体が実施する修学資金貸与事業への助成を行うことにより、産業動物分野の新規民間獣医師の確保を促進する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 産業動物臨床獣医師修学資金現貸与者数+貸与予定者数	目標値		5.0	3.0	4.0	5.0	人
		取組目標値						
	式・定義 (現貸与者数+新規貸与決定者数)	実績値	3.0	4.0				
		達成率	-	80.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,400	2,400
うち一般財源 (千円)	2,400	2,400

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

家畜診療所へ就職を希望する新卒者が少なく、その確保が厳しい状況が続いている。このため退職者の再雇用により定員数を維持している状況が続いているが、将来的に安定した年齢構成にするためには、新卒者の採用が必要となっている

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

H28年度は1名の修学資金貸与を開始し、数年後の新卒者の確保につながった。  
また、貸与者2名が卒業し、それぞれが県内の家畜診療所へ就職した。

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

・本事業はNOSAI家畜診療所の採用者を確保するために実施する修学資金貸与制度に県として補助しているが、家畜診療所が希望する貸与者数が確保出来ておらず、将来的な採用者確保に苦慮している状況が続いている。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・県内高校卒業後、獣医学科に進学する者が少なく、進学しても卒業後に島根県での獣医師を希望する者が少ない。  
・他県も同様の修学資金制度を実施しており、島根県への就職のインセンティブが働かない。  
・卒業生の半数が、小動物診療分野へ就職する。

### ③原因を解消するための「課題」

・県内高校生に島根県公務員獣医師を目指してもらうための動機付け。  
・島根県への就職のインセンティブが働くような修学資金制度の改正。  
・獣医学科の在学生在に島根県の公務員獣医師業務を志望するよう継続的な働きかけ。

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・高校を対象とした、獣医師の仕事を紹介する講座を開き、獣医師に対する理解を深め、獣医師を目指す高校生を増やす。  
・修学資金貸与については、国事業が上限18万円(国公立10万円)としたことから、県もこれに対応し、貸与額を増加させる。但し、募集人数が、応募人数に達しない場合、5年生以上を対象とし、島根県緊急獣医師育成資金(県単事業)として5万円上乗せし再募集(国公立10+5万円/月、私立18+5万円/月)を行うことにより、他県との差別化を図り不足人数を確保する。これらの制度を各大学に徹底周知する。  
・事業実施主体(畜産振興協会)やNOSAI家畜診療所が行う修学資金貸与者募集活動に協力し、大学就職説明会やインターンシップなどで連携した取り組みを行い、貸与者の確保を促進することで、NOSAI家畜診療所の確実な新規採用者確保につなげる。